

英語科指導案

1. 授業の視点

写真や絵を見ながら、本文の概要を簡単な語句や文を用いて相手に伝えることができる
(睡眠が生活に与える影響について、相手に概要を話すことができる)

2. 単元名

SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM 2 Good Night. Sleep Tight.

3. 単元についての考え方

(1) 指導に当たっての考え方

今年度、NEW CROWN から SUNSHINE に教科書が変わった。評価の観点も変わる中で一番変わった活動は、教科書の本文の内容を簡単な語句や文を用いて相手に伝えようとする Retell の活動である。今まで、文法シラバスで学習してきた生徒たちにとって、この Retell を即興で行うことはハードルが高い。そこで、1 セクション (Think 1) ずつ本文内容の概要を確認しながら繰り返し Retell で使える表現を使うことで、Retell の活動に生きてくると考えた。よって1 セクションごと (Think) の内容理解を行う中で、Retell の授業を見越して生徒に Retell で使える本文の概要の表現を導入し、後で行われる Retell の時間に生徒が実際に自分で表現できるように工夫したい。また、ワークシートのヒントだけでなく、生徒自身で1文でも多く本文の内容を自分の言葉で表現できるようにさせたい。

本課では良質な睡眠について考える内容である。最近、スマートフォンやコンピューターを日常的に使用する中学生が増えている。その結果、寝つきが悪くなったり、眠りが浅くなったりするなどして、翌朝の目覚めが良くない子供たちが増えているという。「早寝早起きが大切」「寝る子は育つ」と昔から言われているが、それが難しい現状の中で、睡眠時間を確保するだけでなく、睡眠の質を向上させるために何が必要かを生徒たちにも考えさせたい。

(2) 学校研究主題と英語科研究主題との関わり

本校の研究主題は「確かな学力を持った生徒の育成」であり、英語科研究主題を「自分の言葉で考えを表現するための思考・判断・表現力の育成～4技能5領域の活動を通して～」と定めた。英語科における「確かな学力」とは、①外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に英語を用いて伝えようとする意欲・態度。②英語を用いて、自分の思いや考えを話したり書いたりする力。③英語を用いた内容を聞いたり、読んだりして理解する力。と、捉えている。

本単元では①②③を繰り返し行いながら「確かな学力」に迫っていきたい。

また、この「確かな学力」の視点から、本単元を細分化し、評価と指導の一体化を図りたい。

4. 単元の目標 (千葉市中学校年間指導計画より参照)

(1) 間接疑問文や that 節の特徴やきまりに関する事項を理解する。〔知〕【知識及び技能】

(2) 相手にわかってもらえるように、間接疑問文や that 節の意味や働きの理解をもとに、自分の要件を伝え合う技能を身に付ける。
〔技〕【知識及び技能】

(3) 相手にわかってもらえるように、自分の言葉で要件を伝える。【思考力・判断力・表現力等】

(4) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとする。また、相手にわかってもらえるように、自分の言葉で要件を伝えようとする。
【学びに向かう力・人間力等】

5. 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
〔L/R/Si/Sp/W〕 ①間接疑問文や that 節の特徴やきまりに関する事項を理解する。〔知識〕 ②相手にわかってもらえるように、間接疑問文や that 節の意味や働きの理解をもとに、自分の要件を伝えあう技能を身に付ける。 〔技能〕	〔Si〕 相手にわかってもらえるように、自分の言葉で要件を伝える。	〔L/R/Si/Sp/W〕 ①外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとする。 ②相手にわかってもらえるように、自分の言葉で要件を伝えようとする。

6. 生徒の実態

7. 単元の指導計画（10時間扱い）

時間	○ねらい ・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○where/when/what＋主語＋動詞の意味や働きの理解〔Scene 1〕 ・「誰がどこでどうしたかを覚えている」などと言えるようにする。	ア①② ウ①	活動の観察 ワークシート
2	○Think 1 対話文の内容理解 ・睡眠についての文を読み、概要や要点をとらえる。音読する。	ア① ウ①	活動の観察 ノート提出 テスト
3	○tell＋人＋who/where＋主語＋動詞などの意味や働きの理解〔Scene2〕 ・「誰かにどこにいるかを聞く」などと言えるようにする。	ア①② ウ①	活動の観察 ワークシート
4	○Think2 対話文の内容理解	ア①	活動の観察

	・睡眠について文を読み、概要や要点をとらえる。音読する。	ウ①	ノート提出 テスト
5	○主語+動詞+人など+that～の意味や働きの理解〔Scene3〕 ・「誰かが人に～といった」などと言えるようにする。	ア①② ウ①	活動の観察 ワークシート
6	○Think3 説明文の内容理解 ・睡眠についての記事を読み、概要や要点をとらえる。音読する。 ・友達に自分の考えを表現する。	ア① ウ①	活動の観察 ノート提出 テスト
7 本時	○睡眠についての文章の内容を自分の言葉で表現する〔Retell〕 ・他者につたえるために簡単な語句を用いて写真や絵を見て示しながら概要を話したり書いたりする。	ア② ウ①	活動の観察 ワークシート
8	○Interact 1 Do you know who I am? ・人物や動物になりきり、スリーヒントクイズを考える。ワークシートにメモを作る。 ・友達とクイズを出し合う。	ア② イ ウ①	活動の観察 ワークシート テスト
9	○Interact2 電話で伝言を頼む ・ペアで対話し例文を自分に当てはめ、なりきって会話する。即興で会話を加え、さらに会話を続ける。	ア② イ ウ①②	活動の観察 ワークシート テスト
10	○英語のしくみ ・Program2 の復習。 評価テスト&リスニング	ア①② イ	評価テスト リスニングテスト

8. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ①睡眠が生活に与える影響について他者に伝えるために、簡単な語句や文を用いて、写真や絵を見ながら概要を伝えようとする。【学びに向かう力、人間力等】
- ②相手にわかってもらえるように、間接疑問文や that 節の意味や働きの理解をもとに、自分の要件を伝えよう技能を身に付ける。【技能】【知識及び技能】

(2) 展開

過程	学習内容と活動	指導上の配慮事項と評価 (◇)
----	---------	--------------------

挨拶 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で元気よく挨拶をする 	
Warm up (10)	<p>Small Talk (即興コミュニケーション活動) Topic〔部活動、昨日したこと、行ってみたい場所から一つ選ぶ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1分間でできる限りたくさんの質問をする。 ・聞き取った内容をマッピングでメモをする。 ・役割を交代して、インタビューを再度行う。 ・聞き取った内容をマッピングでメモをする。 ・マッピングのメモをもとに短い英文でまとめる。 <p>作成したワークシートを提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動で何度か行っている ので、スムーズに活動を進めるように支援する。 ・メモはできる限り簡潔にマッピングに書き、たくさん質問するように促す。 ・わからない単語は各自辞書を活用しながら作成するように指示する。 ・難しい日本語の固有名詞などについては、日本語のままローマ字で書いてよいことを伝える。
導入 (10)	<p>○音読練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Think全体の音読を行い、内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>絵やキーワードを使って、相手にわかりやすく本文の内容を伝えよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・Retellに載っている語句を確認する。 ○Q&Aで内容を文でリピートする。 ・Thinkの内容をもとにT⇔SでQA活動を行う。 <p>T: Do Japanese people sleep enough? S: No. T: That's right. Many Japanese people don't sleep enough, repeat? S: Many Japanese people don't sleep enough. T: How many hours do you need to sleep a day? S: six hours……. T: Yes, we need to sleep at least six hours a day. Repeat? S: We need to sleep at least six hours a day.</p> <p>以下、</p> <p>Do we need a "good" sleep? What should we do before going to bed? We should not use smartphones for a long time before going to bed. Why? What did some companies introduce?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音読を繰り返し、その後のRetellにつなげる。 ・質問の答えをつなぎ合わせるとRetellの発表になるようにする。 ・発問はゆっくりはっきり伝える。必要があれば日本語も使う。

	What can workers do after a nap? と、聞いていく。	・ Think の時間に行った Retell のプリントを参考にさせる。
展開 (25)	○練習 ・ 写真や絵、語句の中から話せそうなものを選び、本文の内容をペアの相手にお互いに伝えてみる。 ・ 友達の発表の良い点を取り入れ、メモをする。 ・ 各自自分で練習。(1分) ・ ペアを変えて伝える練習を何回か繰り返す。 ○何人か全体の前で発表する。 ○自分が話した内容について書いてまとめる。 ・ ワークシートを活用しながら、自分でまとまった英文になるように考えて書く。(3分)	・ 評価基準を共有する。 ・ 本文を書き写すのではなく、キーワードを使って伝えることを目指させる。フルセンテンスで書かせない。 ・ 文法の正確性よりも伝える内容を重視する旨を生徒に伝える。 ◇簡単な語句や文を用いて、写真や絵を見ながら概要を話そうとしているか(観察・ワークシート) 《具体的な評価基準*1》 ◇相手にわかってもらえるように、自分の要件を伝えあう技能を身に付けているか。(観察・ワークシート) 《具体的な評価基準*2》 ・ 時間がなければ宿題にする。
まとめ (4)	○今日の振り返り ・ やってみてどうだったか、何を考えたか書く。 ○次回の内容、宿題の確認 ○元気よく挨拶する。	ワークシートを回収する。

◇簡単な語句や文を用いて、写真や絵を見ながら概要を話そうとしているか

(観察・ワークシート)

《具体的な評価基準*1》

A: 他者にわかりやすく伝えるためにジェスチャーを交えながら、事実を整理し概要を話そうとしている。2~3文自分で言葉を足してみようと試みている。

B: 写真や絵を見ながらメモだけを見て他者に概要を話そうとしている。

C: Bを満たしていない

→ワークシートの例文を話すように促す。1文でも自分の言葉で伝えられるよう助言し、支援する。

◇相手にわかってもらえるように、自分の要件を伝えあう技能を身に付けているか。

(観察・ワークシート)

《具体的な評価基準*2》

A：他者にわかりやすく伝えるために、事実を整理し概要を話す技能を身に付けている。よりわかりやすく伝えるために文を足すことができる。Think ごとに全体として5文程度

B：写真や絵を見ながらメモだけを見て他者に概要を話す技能を身に付けている。3文程度

C：Bを満たしていない。

→ワークシートの例文を話すように促す。1文でも自分の言葉で伝えられるよう助言し、支援する。

(3) 本時の評価

・睡眠が生活に与える影響について他者に伝えるために、簡単な語句や文を用いて、写真や絵を見ながら概要を伝えようとしていたか。 【主体的に学習に取り組む態度】

・相手にわかってもらえるように、間接疑問文や that 節の意味や働きの理解をもとに、自分の要件を伝えあう技能を身に付けたか。 [技能] 【知識・技能】